

つくる会 FAX 通信

第 215 号 平成 19 年(2007 年) 12 月 5 日(水) 送信枚数 2 枚

TEL 03-5800-8552 FAX 03-5804-8682 <http://www.tsukurukai.com>

「軍の強制」記述復活を断固阻止 「集団自決検定問題」で第 3 回緊急集会開催 平沼赳夫衆議院議員等 7 議員が決意表明

「教科書検定への政治介入に反対する会」は、12 月 4 日午後 1 時 30 分より衆議院第二議員会館で、本問題打開のための第 3 回緊急集会を開催しました。

集会は 120 名以上が参加、小田村四郎・同会代表の挨拶で開会。続いて、出席した 7 人の国会議員より今回の問題に対する力強い決意表明が行われました。その後中村繁（昭和史研究所代表）、高池勝彦（つくる会副会長）、稲貴夫（神道政治連盟事務局長）、藤岡信勝（つくる会会長）の各氏から本問題の重大性についての問題提起と報告が行われました。とくにその中で藤岡会長は、9 月 29 日の沖縄県民集会より前に政府や文科省の中で今回の検定再審議の流れが既に作られていた可能性がある」と指摘するとともに、検定審議の透明化のための公開討論などを提起しました。

その後、集会では決議案が満場一致で採択され、大原康男氏の挨拶により閉会しました。

なお、今回出席、決意表明された国会議員は次の通りです。

平沼赳夫、亀井郁夫、稲田朋美、長勢甚遠、赤池誠章、西村真悟、中山成彬（敬称略・挨拶順）

決 議

いったんは検定により排除された歴史偽造の教科書記述が、不正不当な政治介入による事実上の再検定で復活する可能性が強まってきた。沖縄戦「集団自決」に関する虚構の「軍命令・強制」説を踏えて教科書会社の訂正申請を示唆し誘導した文科省の姿勢は言語道断であり、検定制度という法治国家の枠組を破壊するその行為の責任は重大である。

事態は最終段階を迎え、極めて危険な状況にある。再検定による嘘の記述の復活が実現した場合の悪影響は計り知れず、その害毒は子々孫々にまで及ぶであろう。悲しくも尊い集団自決の真実を歪める「軍命令」記述は、なんとしても阻止しなければならない。

そのために我々は、去る 10 月 15 日の参議院議員会館での緊急集会・記者会見、11 月 13 日の東京・新宿での国民決起集会に続き、本日ここに不退転の決意をもって結集した。

我々は、自決で散華された方々、遺族、当時現地の軍関係者、沖縄県民、そして日本国民及び日本国の名誉を守るためにも、政府関係当局及び国会議員の良心と良識に訴えるとともに、これまで主張してきた以下の事項を確認し、あらためて強く要求する。

- 一、沖縄戦「集団自決」で軍の「命令」や「強制」が無かったことは実証済みの史実である。
- 一、この史実に立った正当かつ妥当な検定意見を否定し、虚構の「軍命令・強制」説に基づく教科書記述を復活させてはならない。
- 一、当該検定意見の事実上の撤回を求めるいかなる政治介入も、教科書検定制度を根本的に否

定するものであって、決して許されない。

以上、決議する。

平成 19 年 12 月 4 日

沖縄戦「集団自決」再検定を許すな！文科省の責任を問う緊急集会

つくる会東京・三多摩両支部が「文科省を叱咤激励する集会」を開催 文部科学省前で「集団自決」検定の政治介入反対を訴える

衆議院議員会館での集会に先立ち、新しい歴史教科書をつくる会東京支部と東京三多摩支部が主催して、同日午前 10 時 30 分より、東京丸の内の文部科学省ビル前にて、「文科省を叱咤激励する集会」が開催されました。

集会には約 50 名が参加。つくる会三多摩支部の渡辺眞支部長（つくる会理事）の挨拶で始まった集会では、島崎隆東京支部長はじめ、多くの方が次々とマイクを手にして今回の沖縄戦「集団自決検定」への政治介入に断固反対するとともに、文科省が厳正に対処するよう訴えました。

また、検定意見撤回を主張する左翼の集団も文科省前に現れたため、両者が激しく対峙する場面もありましたが、13 時に当会の集会は無事終了しました。

< 南京陥落 70 年 国民の集い >

「参戦勇士の語る『南京事件』の真実」に是非ご参加を！

12 月 6 日（木）18 時 30 分 東京・九段会館

明日 12 月 6 日（木）18 時 30 分より、九段会館ホールにおいて < 南京陥落 70 年 国民の集い > 「参戦勇士の語る『南京事件』の真実」（主催：南京事件の真実を検証する会）が開催されます。南京攻略戦に参戦された 7 名の方をお招きし、南京戦の真実を語っていただきます。

会員各位におかれましては、下記の集会詳細をご参照の上、奮ってご参加ください。

日時：12 月 6 日（木）17 時 30 分開場 18 時 30 分開会

場所：九段会館ホール（東京メトロ九段下駅から徒歩 1 分）

会費：1,000 円（会場分担金として）

主催：南京事件の真実を検証する会（会長：加瀬英明）

協力：日本文化チャンネル桜

電話・FAX によるお問い合わせ先：ポーツマスネットワーク 03 - 3204 - 2535

以上